

講義科目名称： 地域福祉と地域包括ケアシステム

授業コード： 20160 20168

英文科目名称： Community Work and Community-based Comprehensive Care System

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1年	1単位	選択必修
担当教員			
渋谷 篤男			
旧地域福祉と地域ケア			
添付ファイル			

講義概要	地域福祉については、2018年4月および2021年4月施行の社会福祉法改正により、地域共生社会をすすめることとなった。この取り組みは、今までの実践を生かすとともに、包括的支援体制という新たな仕組みづくりをすすめるものでもある。したがって、いままでの地域福祉実践の評価と地域共生社会施策の新しい取り組みを踏まえ、実践および政策の今後のすすむべき方向を検討する。、		
各回の進行予定	第1回	地域包括ケアシステム・地域福祉の概要（理念・仕組み）と保健・医療・福祉制度改革の動向 地域包括ケアシステム・包括的支援体制の概要と背景と制度改革の動向を理解する。	
	第2回	地域包括ケアシステム・地域福祉の方法論的課題 地域社会の変化等について検討するとともに、日本におけるこれまでの地域福祉の流れを踏まえ、日本における地域包括ケアシステム・地域福祉の特徴と課題を検討する。	
	第3回	地域包括ケアシステム・地域福祉におけるニーズの特徴 地域に存在する様々なニーズの特徴を検討し、理解する。	
	第4回	地域における支援方法 地域に散在・潜在する各種のニーズを把握し、対応する方法を検討する。	
	第5回	地域包括ケアシステム・地域福祉における地域包括支援センター等の役割 地域包括支援センター等の組織と業務の他、各種の福祉機関や自治体の役割を検討する。	
	第6回	地域における多職種、他機関の連携と協働 多職種・他機関連携・協働の分野を問わない包括的相談支援の仕組みづくり事例検討を行う。	
	第7回	地域におけるインフォーマルサポートネットワーク 地域住民の福祉活動の重要性と専門機関との連携について検討する。	
	第8回	地域ネットワーク実践の実際 地域における公私協働と社会福祉士の役割 公的サービスとインフォーマルサポートの協働の方法について、事例を交えて検討するとともに、社会福祉士の役割を考察する。	
講義のねらいと到達目標	地域共生社会の理念の今後の可能性を探るとともに、地域福祉・地域包括ケアが担うべきニーズの内容を明らかにするとともに、そのニーズ解決のソーシャルワーク実践と仕組みについて、現状と今後の可能性を検討する。 【認定社会福祉士研修認証科目】		
指定教科書(テキスト)	使用しない。適宜プリントを配布する。		
参考文献・関連URL等	(地域福祉のしごとに関わっていない人について) 社会福祉士養成課程等の「地域福祉と包括的支援体制」 岩間伸之・原田正樹『地域福祉援助をつかむ』有斐閣 原田正樹・藤井博志・渋谷篤男編『地域福祉ガバナンスをつくる』全国社会福祉協議会		
出欠確認方法	毎回、リアクションペーパーを配布して回収する。3回以上欠席した者の単位認定はできない。		
成績評価の方法	授業前にグループディスカッションに備えた事前課題を課す（計4回）。事前課題に対するレポートの内容を評価する。事前課題へのレポートに不足がある場合は、授業終了後のレポートを課す。		
成績評価基準の内容	課題提出の内容を採点し平均60点以上を可とする。		
事前・事後学習のためのアドバイス	事前課題へのレポートは、課題に対する理解・知識ではなく、課題に対する検討の姿勢・過程を評価する。		
他の科目との関連、教育課程の中での位置づけ、キーワード	地域共生社会、地域公益活動、住民の福祉活動、ボランティア活動、総合相談・生活支援、包括的支援体制		
ベンチマーク			